

# 一斉休校 食の問題浮き彫りに

## 10 コロナと「子ども食堂」

### 回顧 2020

この春は、生活協同組合(生協)から届く欠品の知らせに頭を悩ませた。注文通りに食材を入手できず、献立に困ることもしばしば。近くのスーパーでも品切れが続ぎ、「住民が少ない都心なら」と思ってた銀座



寄付された食品や菓子などを配る「Liberta子ども食堂」のスタッフ＝福田恵美さん提供

まで出かけてみると、そこもまた大混雑だった。新型コロナウイルスの影響による小中学校の一斉休校で浮き彫りになったの

が、食をめぐる問題だ。給食がなくなり、多くの家庭で1日3食、家族全員分の準備を迫られた。5月に取材した40代の主婦は、小学校に入學した子どもが学校に通えず、在宅で勉強を教えていた。同

月、杉並区・高円寺のレストラン3店舗が、ひとり親家庭に無料で弁当を配布。小学生と幼稚園児のためにハンバーグ弁当を受け取りにきた母親は、事務の仕事を週5日から1日に減らされてきた。

多くの保護者、特に母親が十分に働けなくなつたうえに、毎日の食事作りの負担感を訴えていた。そんな中、注目を集めたのが、ボランティアで地域の子どもの食を支える「子ども食堂」だ。感染防止のため施設が閉鎖され、飲食の提供をあきらめたところもあったが、

自前のスペースを持つ子ども食堂では、開催日を増やしたところもある。

JR阿佐ヶ谷駅近くの「Liberta(リベルタ)子ども食堂」もその一つ。2月までは月2回夕食を提供していたが、休校中の3月5月は月4回の昼食に変更した。テイクアウトもできるようにすると、1回あたり70〜80食と利用が倍増した。運営するNPO法人「子どもプロジェクト」理事長の福田恵美さんは、「ステイホームで外食できなくなり、保護者は3食作るのが大変だった。1食ぐらいほっとしたかったのでは」とみる。一方で、「貧困や虐待といった問題を抱える子どもの存在も見えてきた」という。

意外なできごともあった。福田さんらのネットワークは今、寄付される食品と家庭をつなぐ新たな事業を計画している。「災害時にも役立つと思うのです」。コロナ禍で再発見した社会のニーズだった。(杉原里美)

# 東京

千代田 中央 新宿  
港 文京 品川 北  
目黒 大田 世田谷  
渋谷 中野 杉並  
豊島 板橋 練馬

速報や写真・話題の提供、催しなどの連絡先  
朝日新聞 東京総局  
〒104-8011  
中央区築地5-3-2  
☎ 03-5541-8435  
fax 03-3545-2019  
mail tokyo@asahi.com

購読・配達のご用は  
☎ 0120-33-0843  
(7:00~21:00)  
広告のご用は  
☎ 03-3547-5552  
折り込みのご用は  
☎ 03-3544-7621

### きょうの天気

6~12時 降水確率 12~18時

10	大手町	10
10	練馬	10
10	府中	10
10	八王子	10

大手町	北	府中	北北東
練馬	北	八王子	北
湿度	40%	波	1.5m
気温	最高	最低	
大手町	13度	4度	
練馬	13度	1度	
府中	14度	0度	
八王子	14度	0度	

大手町	北	府中	南東
練馬	風弱い	八王子	南東
湿度	40%	波	0.5m

12月26日	6.49
(旧11月12日)	16.34
日出	13.52
日入	2.55
月入	
月出	
月齢	11.4